

放置艇の適切な収容と景観性に配慮した係留施設

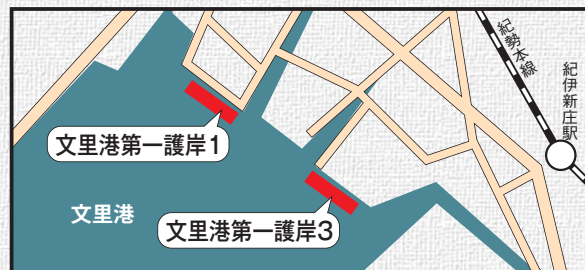
文里港プレジャーボート係留保管施設



本施設は、田辺湾の湾奥に位置し、田辺市周辺の地域産業を支える海の玄関口となっている文里港に、プレジャーボート係留保管施設として計画されました。放置艇による、景観悪化や船舶航行の妨げ等が指摘されている当地域に、プレジャーボートの適切な収容を図るとともに景観に配慮した係留施設として2基の浮棧橋が整備されました。

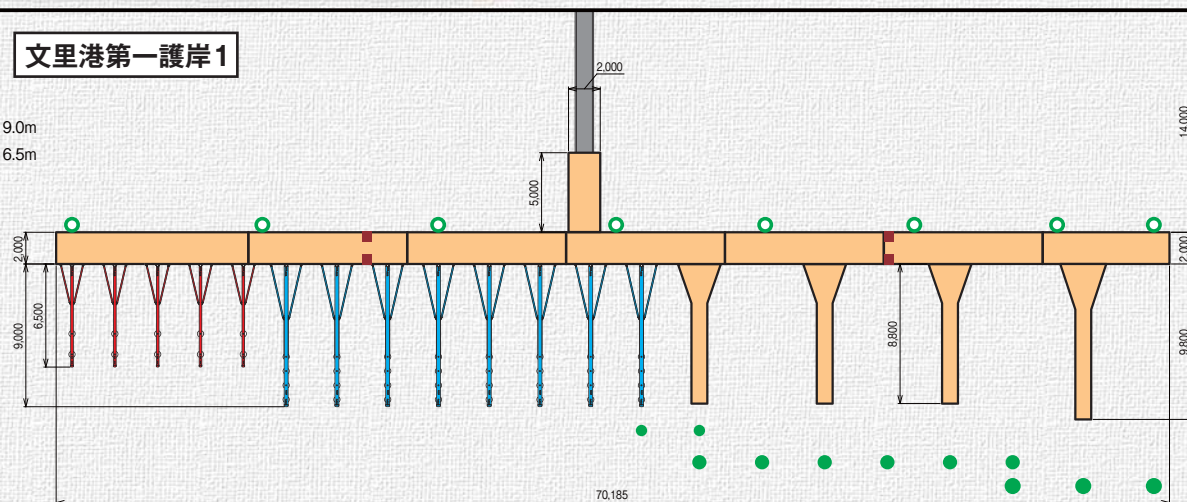
- 所在地** 和歌山県田辺市
- 用途** プレジャーボート用海上係留施設
- 保管隻数**
第一護岸1:
6.5mクラス 5隻、9mクラス 7隻、10m以上 8隻
第一護岸3:
6.5mクラス 9隻、9mクラス 7隻、10m以上 6隻
- 浮棧橋係留** 鋼管杭による係留
- 係船方法** 補助棧橋(ダブルバース)、係船ビーム(Yブーム) 9m・6.5m
- 付帯設備** 連絡橋、門扉、救命ラダー
- 供用開始** 平成25年4月
- 事業者** 和歌山県





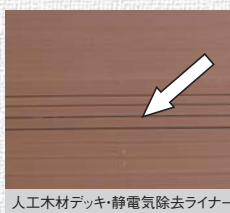
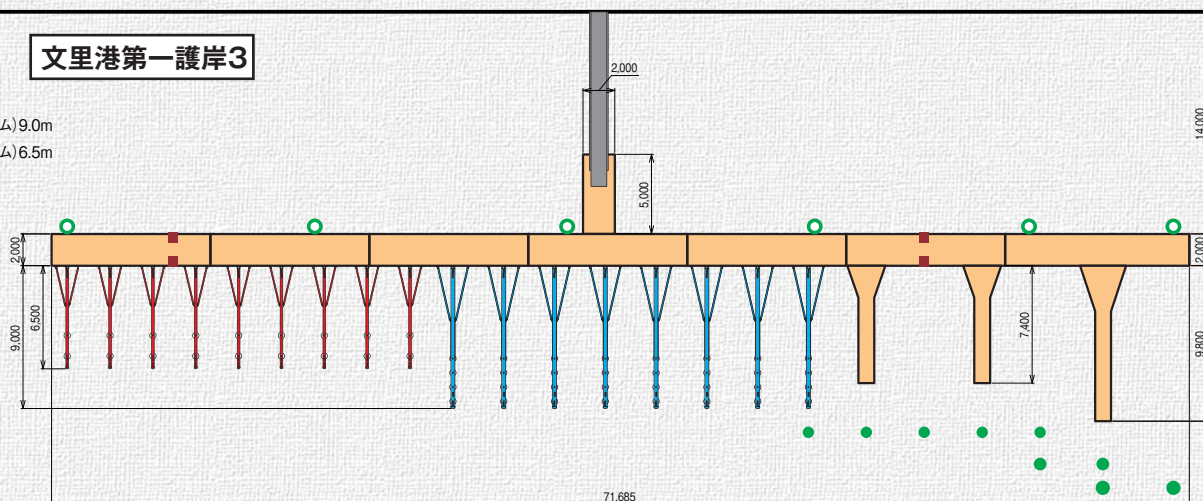
文里港第一護岸1

- パイルガイド
- 銅管杭
- 連絡橋
- 係船ビーム(Yブーム)9.0m
- 係船ビーム(Yブーム)6.5m
- 救命ラダー



文里港第一護岸3

- パイルガイド
- 銅管杭
- 連絡橋
- 係船ビーム(Yブーム)9.0m
- 係船ビーム(Yブーム)6.5m
- 救命ラダー



人工木材デッキ・静電気除去ライナー

浮桟橋(ピアステージⅡ)、人工木材デッキ仕様

人工木材デッキ仕様の強化型アルミフレームの浮桟橋です。腐食や経年劣化が少く、メンテナンス費の軽減を図っています。人工木材は天然木材(ハードウッド)に比べ、濡れた時の摩擦係数が大きく、すべりにくい素材です。なお、樹脂を含む人工木材で発生しやすい静電気を除去するライナーを設けています。

三角コーナー
一体型補助桟橋(フィンガー)

安全面に配慮し、デッキ面の凹凸を排除した三角コーナー一体型補助桟橋です。



パイルガイド

銅管杭に桟橋を係留する3点支持のパイルガイドは、ゴム製の3個のローラーがスムーズに潮位の変化に追随し、しっかりと桟橋を保持しています。



係船ビーム(Yブーム)

船舶のサイズ変化に容易に対応できる、利便性の高い簡易係留装置です。耐候性に優れ軽量なYブームは、建設コストの低減に寄与しています。



連絡橋

アルミ製で腐食に強い連絡橋は、スロープ式が採用されました。ローラーにより干満差に対応し、床面には滑り止め加工を施し、安全面に配慮しています。